

-----  
2020/12/24 9:30-17:00 (Zoom によるオンライン開催)  
-----

9:30-9:40

・開会挨拶 阪大院理・篠原 厚

9:40～

・セッション1「生体影響」 (座長：高宮幸一)

依頼講演 「放射性微粒子の吸入による内部被ばく～線量評価法の構築と今後の課題～」真辺健太郎 (JAEA)

<ブレイク>

10:40～

・セッション2「生体影響、環境動態」 (座長：箕輪はるか)

「不溶性セシウム粒子による細胞影響解析」鈴木正敏 (東北大)

「放射性不溶性粒子の吸入による生物影響—動物実験より—」山田 裕 (QST)

「太田川において放射性セシウム粒子が水生昆虫の放射性セシウム濃度に与える影響 (仮)」三浦 輝 (電中研)

「Comparison of aerosol and soil radiocesium, and their distribution and fate/エアロゾルと土壌放射性セシウムの比較、およびそれらの分布と運命」Tang Peng (茨城大)

12:00-13:00<ランチブレイク>

13:00～

・セッション3「放射性微粒子の分析(1) 性状分析」 (座長：佐藤志彦)

「1号機由来放射性粒子とプルーム軌跡の探索」箕輪はるか (慈恵医大) \*

「不溶性放射性粒子の蛍光による検出実験」北 和之 (茨城大)

「ICP-MSを用いた放射性粒子の多元素定量分析」横山大輝 (筑波大)

「放射性微粒子に含まれるプルトニウム同位体分析 (仮)」五十嵐淳哉 (阪大)

<ブレイク>

14:30～

・セッション4「放射性微粒子の分析(2) 模擬実験」 (座長：二宮和彦)

「KPFM法を用いた放射性Cs微粒子の帯電状態の解明」新家雪実 (慶応大)

「不溶性放射性微粒子の模擬生成実験」稲垣 誠 (京大) \*

「放射性溶液エアロゾルの模擬生成による生成過程の解明」高宮幸一 (京大) \*

「放射性Cs含有微粒子の物理化学的性質とそれに基づく模擬ガラスの合成」奥村大河 (東大) \*

「環境試料中の放射性Cs含有微粒子定量法の提案」小暮敏博 (東大)

<ブレイク>

16:10～

・セッション5「英国連携セッション (オンデマンド)」 (座長：五十嵐康人)

「TBA」Peter G. Martin (University of Bristol)

16:30～16:50

・セッション6「総合討論」 (進行：篠原 厚)

16:50-17:00

・閉会挨拶 京大複合研・五十嵐 康人

(持ち時間 20 分：講演 15 分+討論 5 分)、\* 持ち時間 15 分：講演 12 分+討論 3 分)